

**春の入学シーズン
交通安全に気をうけましょう!!**

4月6日からの10日間、小学生などの入学シーズンに合わせた春の交通安全運動が行われ、地域の方々に見守られながら、初々しく登校する新1年生の姿が見受けられました。

今年の町内小学校入学者は22名で、期間中、交通安全活動に携わる指導員の方々に見守られながら登校していました。

新1年生は、慣れないながらも横断歩道での左右確認などをしっかりと行い、一緒に歩く上級生や交通安全指導員など、様々な人に見守られながら、安心して登校している様子でした。



**秋の豊作を願って
温床で育つ元気な苗**

4月18日頃より、田植えのための苗を育てる作業が各地区で始まりました。

温床（おんしょう）作業は、種籾（たねもみ）を温かいハウスの中で一定の大きさまで育てる工程で、5月になると水田に移植されます。

今年は、春の気温が低いことや4月上旬には朝方に雪も積もるなど、多少の遅れが予想されていますが、下旬には気温も上がり、温床の生育も順調に進みそうですとのこと。

新村で稲作を営んでいる若手農業者の鈴木さんにお話を伺うと、『最近は大候不順も多いですけど、元気に育つよう今年も精一杯準備します』とのこと、秋の豊かな実りが期待されます。

歌謡とともに30年

3月27日、上ノ国歌謡研究会大坂明彦会長）主催による、設立30年記念歌謡発表会が、ジョイじょぐらにて開催され、100名以上の方々が会場を訪れました。

今年は歌謡研究会が結成されて30年となる節目の年で、大坂会長からは『皆さんに楽しんでほしい、応援してもらおうことで30年間休むことなく続けてこられました』と主催者を代表し、挨拶していました。

会場では、約70名の出演者が、大勢の来場者に向けて熱演熱唱し、観客からも温かな拍手が送られ、最後までなごやかな雰囲気の中で発表会は行われていました。



**ゴミのない町
気持ちのいい町**

4月17日、町内一斉のクリーン作戦が各地区で行われました。

少し肌寒い一日となったこの日、地区によつては朝早くからごみ拾いをする方の姿も見られ、園児から高齢者までが一緒に捨てられた空き缶や空容器などを回収し、1〜2時間ほどの清掃活動に勤しみました。

毎年、道端に捨てられたり、海から漂着した新たなゴミなどがあるものの、回収ごみの量は年々減少傾向にあり、一人ひとりの気配りが町をきれいに保っているものと感じられます。

これからも全町が団結し、住んでいて気持ちのいい町にしていきたいと思います。